

【参考資料】

カハラ・ポスト・グループ(KPG)について

1 設立について

KPGは、オーストラリア、中国、香港、日本、韓国および米国の環太平洋地域の主要郵便事業体が、国際スピード郵便(EMS)や国際小包の品質向上を目的として、2003年に設立。その後、スペイン、英国(2006年)、フランス(2007年)およびシンガポール(2008年)の郵便事業体が加入し、現在は、10事業体(9カ国)を結ぶグローバルなネットワークを構築しています。

メンバー事業会社: 10社(2009年7月現在)

オーストラリア	オーストラリアポスト	Australia Post
中国	中国郵政集团公司	China Post Group
香港	香港郵政署	Hongkong Post
日本	郵便事業株式会社	Japan Post Service Co., Ltd.
韓国	韓国郵便事業本部	Korea Post
米国	米国郵便事業庁	United States Postal Service (USPS)
スペイン	コレオス	Correos y Telégrafos
英国	ロイヤルメールグループ	Royal Mail Group
フランス	ラポストグループ	Groupe La Poste
シンガポール	シンガポールポスト	Singapore Post Limited

KPGへの加盟には、技術、信頼性、キャパシティを対象とする厳しい参加基準を満たすことが必要となっています。アライアンス・ネットワークで、お客様に高水準のサービスを提供できるよう、加盟事業体は常にそのパフォーマンスをモニタリングされています。

2 KPGの構成・運営について

KPGは、CEOボード、BOD(役員会)及びMT(マネージメント・チーム)で構成され、CEOボードは年次次会合を開催し、KPGの向こう1年間の活動方針を設定。

- 本年は、郵便事業株式会社(東京都千代田区 代表取締役会長CEO 北村憲雄)が議長となり、7月8日(水)に京都で年次会合を開催。
- 本年次会合では、一層の品質向上のためのオペレーション、ITの継続的改善、顧客サービスの向上、KPGメンバー事業体間における継続的な商品・サービスの共同開発、マーケティング活動及びグローバルネットワークの拡大、今後のアライアンスの戦略等について討議を行なう。

3 KPGのコンセプト

- 国内外を問わず、差出人から受取人まで、顧客への透明性を提供するための技術及び統合されたネットワークを活用した高度でシームレスな信頼性のあるサービスを実現することです。
- 差出地(引受地)の郵便番号と目的地(宛先)の郵便番号を組み合わせ※により、配達予定日を計算するシステムを構築し、これを元にお客様に配達予定日お知らせ(配達日保証サービス)し、信頼できる確実なサービスを提供しようとするものです。(2005年6月提供開始)
※160億の郵便番号のデータベース
- サービス維持のために、引受けから配達までのあらゆるオペレーションの品質を高め、その維持のため、日々品質をシステムで計測し、問題がある場合には、専門家から責任者まで迅速な行動をとって解決にあたっています。

4 KPGのサービス内容

KPG が提供するサービスはあらゆる種類のお客様向けとなっており、特に中小企業のお客様や個人のお客様には、このサービスを民間配達業者のものに比べても、非常に魅力的なものでしょう。

エクスプレス・サービス

KPG加盟国宛に 2 から5営業日で配達を行なう、迅速かつ信頼性の高い、配達日を確定できるサービスです。お客様は、自分の郵便物の配達状況を、オンラインまたは電話で追跡することが可能です。オプションとして集荷サービスが受けられ、また、配達時に受領サインをもらうよう指定もできます。

航空小包サービス

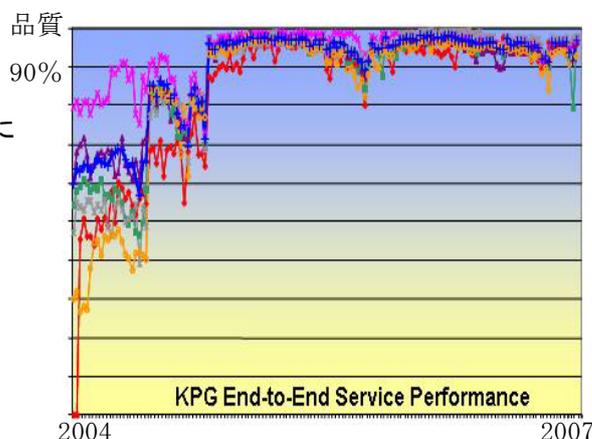
低価格でありながら、信頼性が高いサービスです。配送リードタイムに比較的余裕のあるお客様にお勧めのサービスで、利便性があり、コストパフォーマンスの高いものです。KPG 加盟国においては、4から8営業日でのお届けとなります。

5 これまでの取り組みと業績

(1) 品質の向上

設立当時と比較して、エンド・トゥ・エンドの品質が飛躍的に向上するとともに、その後も高品質を維持しています。

(参考) 引受からの標準配達日数内配達率の向上



(2) ネットワークの拡大

現在の 9 カ国、10 郵便事業者の郵便ネットワークを特徴的な数字で示すと以下のとおりです。

- メンバー国の配達箇所数 3 億 2800 万箇所
- アクセス郵便拠点数 17 万 6000 箇所

※この他、集荷サービスも利用可能です。

(3) EMS 物数の成長

配達日保証付きEMSの提供(2005年)を境に、その後順調に成長を遂げています。

2008年の対前年度比成長率は、11%となっています。

(参考) 2002年に対するEMSのその後の成長率

